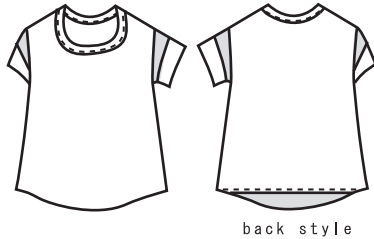


ニット専用
パターンです



back style

スタンダードでカジュアルなTシャツです。

デザインはカジュアルながらも、シルエットはコンパクトで、ゆとりは多すぎることがなく、品のあるすっきりしたラインです。

肩の切り替え部分は、ただの切り替えではなく、リブやボーダーなどのラインを活かせるようパターンで調整しています。

後ろ裾に、切り替えをつけてアクセントに。

長袖アレンジもありますので、年中お使いいただけます。

男の子なら誰もが似合うアイテム、もちろん成人男性にも。

ダンスなど、女の子のスポーツシーンにもお薦めです。

材料

- 表地はトップス用ニット素材。
天竺、スムース、接結などが向いています。
テンション中くらいが適しています。

参考用尺になります。
柄合わせなど特別な場合は更に必要です。

参考用尺	140cm巾 (ニット) ()内は長袖	別布 (ニット) 袖山/後ろ裾	10mm巾 伸び止め テープ
140	1.0m(1.2m)	0.2m	0.25m
150	1.0m(1.2m)	0.2m	0.25m
M	1.2m(1.5m)	0.2m	0.3m
L	1.2m(1.5m)	0.2m	0.3m

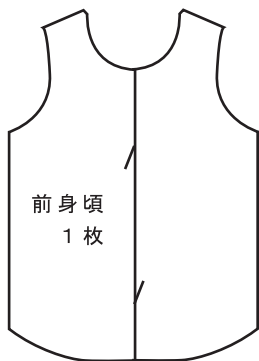
寸法

パターン上の寸法です。
お使いの素材により
仕上がり寸法が違います。

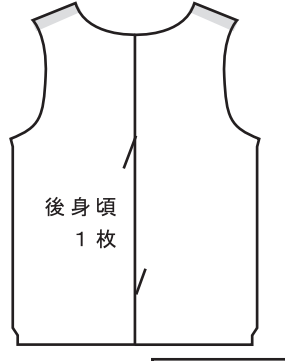
	背肩巾	バスト	着丈 (後中心)	長袖丈	半袖丈	袖切り替え巾
140	31.5cm	78cm	53.5cm	46.0cm	15.0cm	3.0cm
150	33.0cm	82cm	57.5cm	50.0cm	16.5cm	3.0cm
M	40.0cm	98cm	66.8cm	56.5cm	16.0cm	2.5cm
L	42.0cm	102cm	69.8cm	59.5cm	17.5cm	2.8cm

裁断

スリット位置の
合い印は全て、
ロックをすると
わからなくなって
しまうため、
チャコや糸で
印をつけるのが
おすすめです。
(計4ヶ所)



前身頃
1枚



後身頃
1枚

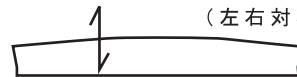
衿ぐり用バインダー布 1枚



わだち

裾切り替え布
1枚 (別布)

袖切り替え布 (別布) 2枚
(左右対称に裁断)



半袖 2枚
(左右対称)



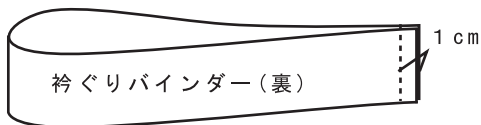
長袖 2枚
(左右対称)

1 肩部分を縫います

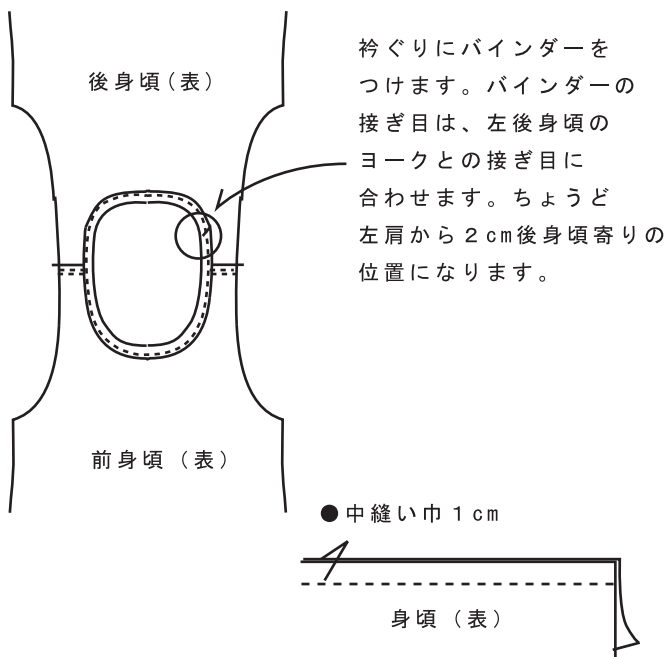
両肩をそれぞれ
前後、中表に合わせ、
本縫い+ロック（ジグザグ）
もしくは4本糸オーバーロック
で縫い合わせます。
縫い代は、後身頃側に
倒しておきます。



2 衿ぐりにバインダーをつけます。



衿ぐりバインダーを中表にして、
端を縫い合わせ、わっかにします。
縫い代は割っておきます。



3 袖口始末をします。

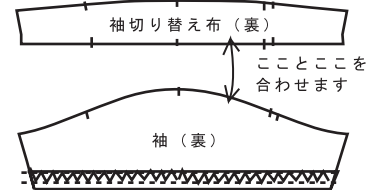
縫い代をロック（ジグザグ）始末し、
出来上がりで折り上げ、ステッチ始末。
コツは身頃裾を参照してください。



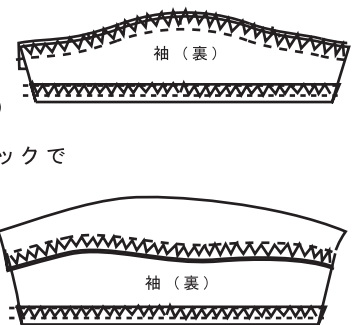
4 袖切り替え部分を縫います。

* ここでは半袖の図で説明しますが、
長袖も同じやり方になります。

袖の山部分と、
袖切り替え布を
縫い合わせます。
パーツの向きを
間違えないように。
後ろアームホールには
目印として合い印が2つ並んで入っています。



2枚を中表に合わせ、
本縫い+ロック（ジグザグ）
もしくは4本糸オーバーロックで
縫いあわせます。
縫い代は袖側に倒します。

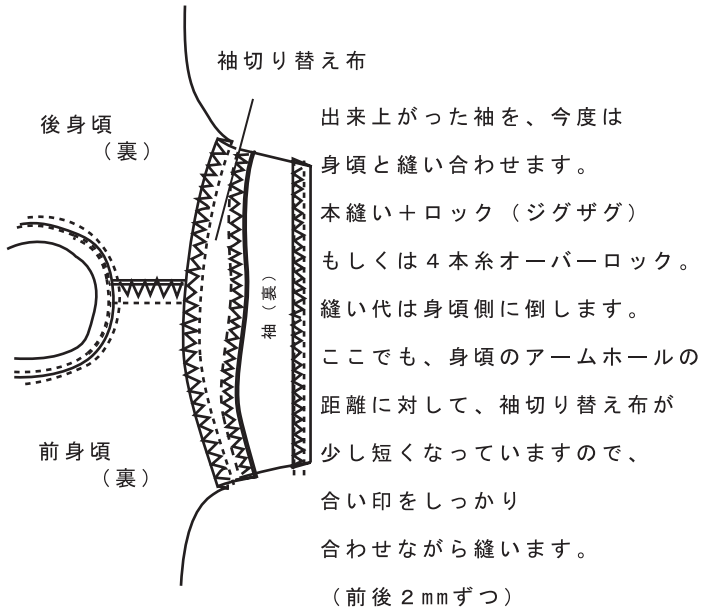


注意

縫い合わせは同じ寸法同士ではなく、切り替え布に対し、
袖の方が距離が短い（前後とも4mmずつ）ため、
合い印を必ず合わせるようにして縫ってください。

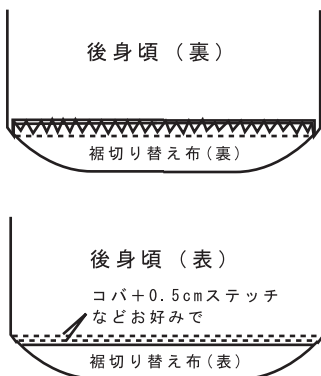
なぜ袖の方が短いかというと、ここを微調整しないと、
切り替え部分が着用時、尖ってしまうからなのです。
生地によって違いますが、こういうところでも
パターン操作が細かくされています。

5 袖つけをします。

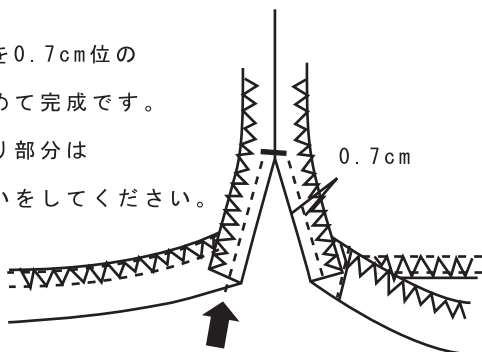


6 裾切り替え部分を縫い合わせます

後身頃の裾と、裾切り替え布を縫い合わせます。
中表に合わせて、本縫い+ロック (ジグザグ) もしくは4本糸オーバーロック。
縫い代は上側に倒し、今度は表から切りかえラインをステッチで抑えます。

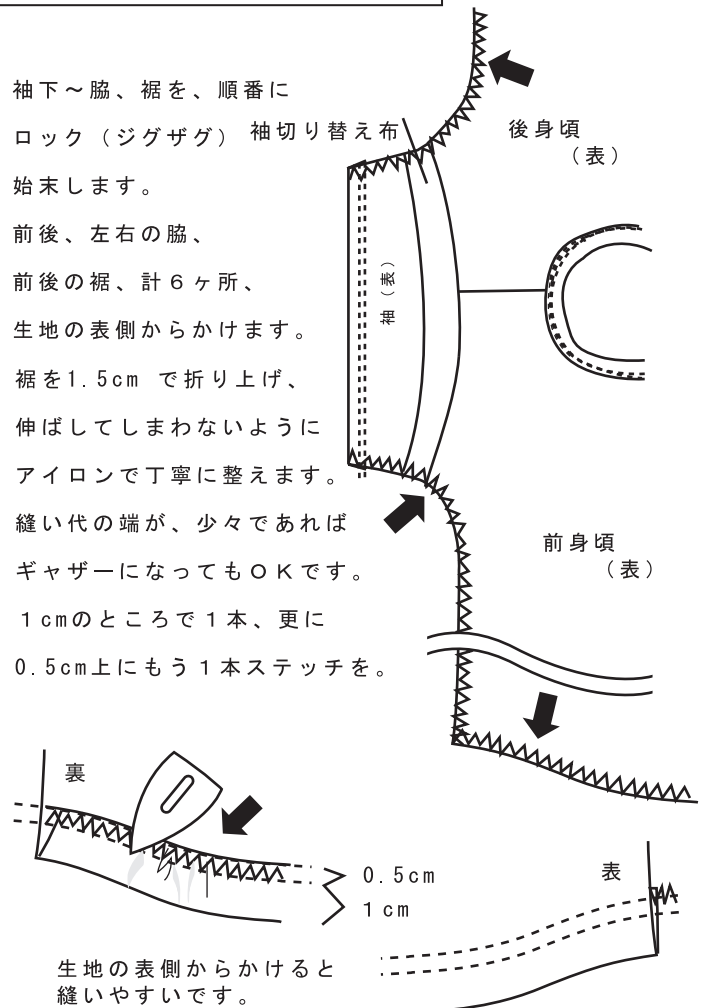


スリット周りを0.7cm位のステッチでとめて完成です。
スリット止まり部分は何度か返し縫いをしてください。



7 袖下~脇、裾の始末をします

袖下~脇、裾を、順番にロック (ジグザグ) 袖切り替え布始末します。
前後、左右の脇、前後の裾、計6ヶ所、生地を表側からかけます。
裾を1.5cmで折り上げ、伸ばしてしまわないようにアイロンで丁寧に整えます。
縫い代の端が、少々であればギャザーになってもOKです。
1cmのところで1本、更に0.5cm上にもう1本ステッチを。



8 袖下~脇の始末 スリット始末

前後の身頃を中表に合わせて、縫い合わせます。袖下~脇のスリットどまりまで縫ったら返し縫いでとめ、縫い代は割ります。
袖下の縫い代を表まで通して止めミシンします。

